



▲俳句の心について話される丸山冬鳳先生

南丹市内で俳句に親しむ者同士が、一同に集まり、交流を深めながらお互いの感性を磨こうと、市文化協会連絡協議会（高木茂会長）の主催による南丹市俳句同好者の集いが市日吉町生涯学習センターで行われ25人の参加がありました。

講師に京鹿子同人会副会長の丸山冬鳳先生を招き「俳句の心」と題した話を聞いた後、自然の移ろいや春が待ち遠しい想いを詠った句を参加者が披露。「万葉の心となりて 初硯」や「雪景色 この里が好き 今が好き」など、思い思いの情景が詠まれました。

「雪景色 この里が好き 今が好き」

(2/15 南丹市俳句同好者の集い)

「手作り作品と笑顔並んだ一日」

(2/17 第二十五回きさらぎフェア)

南丹市婦人会（畑ふみ子会長）による恒例の第25回きさらぎフェアが市国際交流会館で行われました。

市内の婦人会各支部の活動を発表する場として手芸や工芸作品、手作りのエコグッズなどが展示されたほか、アクセサリ作りなどの体験コーナーも設けられました。また、地域の農産加工グループのおもちやお菓子などの出展もあり、参加者同士の交流や、訪れた人たちの笑顔があふれる一日になりました。



▲アクセサリ製作を体験する参加者ら

「守り、創る、美山の魅力と可能性」

(2/27 第二回美山フォーラム)



▲美山での活動が紹介されたパネルディスカッション

美山文化ホールで第2回美山フォーラムを、佛教大学、美山まちづくり委員会、南丹市の主催で行いました。フォーラムでは、「人は誰でも主役になれる」と題し、徳島県上勝町で年間売上高3億円以上の葉っぱビジネスを成功させ、過疎の町を再生に導いた株式会社いんどり副社長の横石知二さんが講演されました。また、美山名水株式会社の田中綜治社長、美山在住で京都新聞社の井上年央記者、佛教大学「美山研究会」の学生らによるパネルディスカッションを行い、それぞれの活動や取り組みが話されました。

「夜間中学の生徒講演 ―学ぶ喜び、宝物―」

(2/16 南丹市立図書館主催文化講演会)

南丹市立図書館主催の文化講演会が園部公民館で行われました。

第1部では、夜間中学校を描いたドキュメンタリー映画「こんばんは」を上映。第2部では、京都府で唯一の夜間中学校の洛友中学校に通う生徒の姜徳順さんをはじめ、教師の小林民和さん、学生ボランティアの山根実紀さんを招いた講演が行われました。夜間中学校は、戦後の混乱期に、学校に行けなかった人たちに学ぶ場を提供するため、昭和22年に大阪で始まりました。姜さんは「さまざまな人と学んだことが私の宝物です」と語っていただきました。



▲夜間中学校の話をする小林民和先生（左）